

香港日本語教育研究会会長
梁 安玉

会員の皆様、

香港日本語教育研究会は 1978 年に創立され、2007 年 9 月に香港政府より非営利団体 NPO 法人として認められました。以来、皆様のご指導とご鞭撻により、香港内のみならず、世界各国、地域との日本語教育・日本研究に携わっている方々との学術・教育交流を進めると共に、香港における日本語教育の普及と促進に力を注ぎ、様々な活動を展開してまいりました。

そして、在香港日本国総領事館をはじめ、各日本関係各団体及び機関、会員の皆様、先輩の多大なご支援のおかげを持ちまして、2018 年に当研究会は創立 40 周年を迎えることができました。今一度心より御礼を申し上げます。今後一層精進してまいる所存でございます。さらに、四十周年を記念するために、8 月に記念講演を開催いたしました。国際交流基金 日本語事業部の村田春文部長がご多忙にもかかわらず「世界の日本語教育と国際交流基金の取り組み～これまでとこれから～」という演題にてご講演をしてくださいました。研究会の今後の発展にとり、大変示唆的なご講演となりました。改めて御礼を申し上げます。

さて、2018 年度における当研究会の活動でございますが、5 月に年少者のための日本語教育の普及、促進を目的といたしました「香港小中高生日本語スピーチコンテスト」が第 14 回目を迎えました。厳しい予選を経て、小学生の「詩の朗読」、中高生の「詩の朗読」、中高生の「朗読劇」、高校生のスピーチの 4 部門に合計 48 名の出場者が選出されました。出場者の日本語能力は年々高まりつつあり、それぞれの印象的なパフォーマンスが来場者を魅了し、大きな感銘を与えました。なお、国際交流基金の北京日本文化センターの高橋耕一郎所長が遠方北京よりお越しくださり、審査員を務めてくださいましたこと、心より感謝いたしております。

年少の日本語学習者の学習意欲を高めるために 2011 年に設立した日本語成績優秀者への奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞は、2018 年 9 月に第 8 回目の授与式を行いました。高校の日本語成績優秀者 4 名に奨学金を、5 名にプロジェクト賞を授与いたしました。また、副学士課程の日本語成績優秀者 6 名に奨学金を、12 名にプロジェクト賞を授与いたしました。

現地日本語教師の要望に応えるため、国際交流基金海外派遣日本語専門家でいらっしゃる山下直子先生と齋藤誠先生のご協力を得て日本語教育のワークショップおよび日本語教師セミナーを開催し、好評を博しました。

海外との交流においては、香港日本語教育研究会は、日本語教育グローバルネットワークの一員として、日本、中国、韓国、台湾、アメリカ合衆国、豪州、欧州、カナダ、ニュージーランド、インドネシアの各国の日本語教育の専門家や研究者の方々との交流に努めております。8月にイタリアのヴェネツィアで開催された「日本語教育世界大会」に参加し、世界各国・地域の日本語教育者と有意義な意見交換ができました。この成果を今後の香港における日本語教育の更なる促進に力の限り尽力いたす所存でございます。

1994年に発足されました「国際日本語教育・日本研究シンポジウム」が、2018年には第12回の開催となりました。日本語教育に携わっている方々、日本に興味をお持ちの方々のご協力とご支援のもと、12月8日と9日の2日間にわたり、香港理工大学にて15国と地域より合計278名の参加者を迎え、発表の総件数も230がありました。

最後になりましたが、今一度、在香港日本国総領事館、国際交流基金、及び会員の皆様方の温かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。なお、2018年の研究会の業務が順調に運ばれましたことは、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力のおかげと、心より感謝いたします。

香港の日本語教育の普及と促進がますます繰り広げられますことを心より期待し、そして、世界各地との学術及び教育の交流、世界的な視野を持つ香港の日本語教育の更なる普及と振興に貢献できましたら幸いです。今後とも、引き続き、変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

以下、2018年度(2018年1月1日～12月31日)の当研究会の活動報告をまとめました。

- 2017年12月9日～2018年5月26日、「2017-18年集中日本語教師研修セミナー」を開催しました。
- 3月17日及び18日、「演劇を取り入れた日本語コミュニケーション教育—理論と実践—」の講演会及びワークショップを主催しました。協賛団体は国際交流基金 JF にほんごネットワークでした。

【講演会】

1 「演劇的手法を使った日本語教育」

講師： 平田 オリザ 先生（劇作家、演出家）

2 「演劇的アプローチによる日本語教育の可能性」

講師： 橋本 慎吾 先生（岐阜大学 留学生センター 教授）

【ワークショップ】

1 「演劇的手法を使った日本語教育」

講師： 平田 オリザ 先生（劇作家、演出家）

2 「演劇的アプローチを取り入れた日本語授業をデザインする」

講師： 橋本 慎吾 先生（岐阜大学 留学生センター 教授）

- 5月13日、第14回香港小中高生日本語スピーチコンテストを開催しました。
◎ 会場：城景国際酒店5楼
◎ 出場者数：暗誦の部（小学生）9名、暗誦の部（中/高生）10名、朗読劇の部（中学生）5チーム、スピーチの部（高校生）8名、出場者総数：48名。
- 6月17日、2018年第1回日本語能力試験(N4及びN5級)模擬試験を実施しました。応募者数：500名。
- 7月1日、2018年第1回日本語能力試験(N1～N5)を実施しました。応募者数：7,057名。
- 7月7日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接を実施しました。
- 8月11日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞の候補者の面接を実施しました。
- 8月18日と22日、ワークショップ「まるごとで教える（入門・初級の授業プラン編）」を開催しました。
- 8月25日、香港日本語教育研究会第十回総会を開催しました。
同日に40周年記念講演会を催しました。
テーマ：「世界の日本語教育と国際交流基金の取り組み ～これまでとこれから～」
講演者：村田 春文氏（国際交流基金 日本語事業部部長）
- 8月、『日本学刊』第21号を出版し、総会にて会員へ配布し、香港及び海外の日本語関係機関に郵送しました。
- 9月29日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究関係のプロジェクト賞の授賞式を開催しました。
- 11月18日、香港地域における2018年第2回日本語能力試験(N4及びN5)模擬試験を実施しました。応募者数：500名。
- 12月14日と19日、ワークショップ「『書くこと』の授業デザインと評価～中高生への授業編～」を開催しました。
- 12月2日、2018年第2回日本語能力試験(N1～N5)実施しました。応募者数：7,772名。

- 2018年度の香港における日本語能力試験実施は2回。応募者総数：14,829名。
- 12月8日と9日、「多言語世界における日本語教育の変遷」というテーマで、香港理工大学と共同で、第12回「国際日本語教育・日本研究シンポジウム」を開催しました。
基調講演①：2018年12月8日（土）
題目：「多言語世界における自己、他者、世界の理解：日本語を通しての学び」
講演者：中根育子博士（メルボルン大学）
基調講演②：2018年12月9日（日）
題目：「言語使用者を母語話者の規範から解放する言語教育」
講演者：日野信行教授（大阪大学）
15国と地域より合計278名の参加者を迎えました。発表の総件数230。
- 10月6日～2019年5月25日、2018-19年集中日本語教師研修セミナーを開催しました。

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定しました。

2018年度は計11回の会議を実施しました。

【月例会】

毎月第2土曜日(2時～4時)に、当研究会事務所のホールにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施しました。

講師—香港で高等教育、中等教育、日本関係研究に携わっていらっしゃる方々。

2018年度は計4回開催し、参加者数は平均25名でした。

以上